



三重県で創立50周年を迎えたeisuによる、「未来の日本を、世界を引っ張るリーダーを!」をテーマとしたメッセージの第3回。今回は前回に引き続き、株式会社東芝の相談役(前会長)、西田 厚聡(にしだあつとし)氏にご登場いただきます。これからの時代に求められる教育について、西田氏にeisu group COO伊藤 奈緒が取材します。なおこの前に行われた、西田氏とeisu group CEO山本 千秋との対談は、WEBサイト(<http://www.eisu.co.jp/>)に掲載されています。ぜひご覧ください!

(2015年2月9日東京芝浦の東芝本社にて)



株式会社東芝 相談役(前会長)

eisu group COO(最高執行責任者)

## 西田 厚聡 × 伊藤 奈緒

### 「広く、深く」 考えることが大切

伊藤: 現在、教育改革が国家レベルでテーマとなっていますが、これは、社会の構造的変化に伴い、個人にとっても社会にとっても将来の予測が困難な時代が到来していることがその背景にあります。そこで、そんな時代に関する西田さんの見解をお聞かせください。

西田: 21世紀に入り、グローバル化が世界の隅々まで浸透し、人類は今まで経験したことのないような新しい社会的課題に直面しています。日本においては少子高齢化・人口減少が問題となっていますが、世界的にみるとむしろ人口爆発が問題です。他にも自然資源の制約、地球温暖化、エネルギーの確保、食糧難、水不足等々、困難な課題が山積みです。これら課題に取り組みつつ、持続的な経済成長も目指さなくてはなりません。このような時代に、過去の経験はそのままで役に立ちません。人類は知恵を絞り、イノベーションを

次々と創出して困難を乗り越えて行くしかない、それが今の時代です。

伊藤: そんな時代を生きて抜いていくためには、どんな能力が必要だとお考えですか?

西田: 山積する課題を解決するためには、的確な判断力を持つことが不可欠です。問題は、そうした判断力をどう磨くかです。まず必要なのは、知識と情報です。正確な知識を豊富に持ち、溢れる情報を取捨選択する力がなくては的確な判断はできません。次に、日頃から「広く、深く」ものを考える訓練が必要です。「広く、浅く」でも、「狭く、深く」でもいけません。矛盾するようですが、「広く、深く」です。さらに、リベラル・アーツ、つまり教養も大切です。「広く、深く」考えるためには、幅広く深みのある教養がなければいけません。こういう条件がそろって初めて、的確な判断力が養われます。これに加え、これからの時代はやはり外国語によるコミュニケーション能力が必要です。英語はもちろん、これからは世界経済を牽引する新興国の言語についても明るいほうがいいでしょう。

### 若い世代の 皆さんへの期待

伊藤: 西田さんのお話には本当に驚きます。自然にお話されている中で、国が教育改革で重視している「真の学力」の3要件、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が見事にまとめられています! ビジネス界を牽引されている人の考え方が教育改革に直結しているということも、今改めて確信しました。ずっと以前から西田さんが提唱されている「応変力」「選択と集中」「イノベーション」といったもの、ビジネスはもちろん、いろいろなシーンで今なお頻りに登場するコンセプトでものね。では、これからの教育に求められるものについて、お考えをお聞かせいただけますか?

西田: たくさんありますが、今、これだけは教育の現場でしていただきたいと思うことが二つあります。まずは的確な判断力を養う教育です。判断力を養うために必要な知識・教養をきちんと習得させ、思考力を訓練すること

がとても重要です。もう一つは「失敗から学ぶ力」を養うことです。いろいろな社会的課題を解決するには、新しいことにチャレンジし、イノベーションを創出する力が必要です。でもそれは、一方では必ずリスクを伴うものですし、挑戦する以上、必ず失敗もあります。だから「失敗から学ぶ力」を、教育の中で養うことが大切だと思います。

伊藤: 的確な判断力をもって、積極的に新しいことにチャレンジし、様々な社会的課題を解決していける人を育てる。それは、社会貢献を通じて自分の力で生きていける自立した「人材」を育てるという私たちeisuの教育目標とも重なります。教育に携わるすべての者の使命である、と強く認識できました。ありがとうございます。最後に、西田さんから未来を担う子供たちにメッセージをください。

西田: では、東芝の若手社員に私からずっと言い続けている言葉をお送りして締めたいと思います。「若い世代の皆さん、私は皆さんの柔軟な知性、豊かな構想力、そしてエネルギー的な行動力に期待しています。」



株式会社東芝 相談役(前会長) 西田 厚聡(にしだあつとし)  
三重県・現紀北町の学校教員の家庭に生まれる。1968年 早稲田大学第一政治経済学部を卒業。1970年に東京大学大学院法政学研究所修士課程修了。イランにて東芝と現地資本の合弁会社に入社。1975年5月に東京芝浦電気に入社。95年パソコン事業部長。2005年社長。09年会長に就任。14年には相談役となり現在に至る。東芝パソコン事業を興した功績者であり、「始まらないイノベーションの創出」をキーワードに、東芝を牽引した。座右の銘は「真心、実言、実行」。

株式会社東芝 (TOSHIBA CORPORATION) <http://www.toshiba.co.jp/>  
**TOSHIBA** 日本を代表する大手総合電機メーカー。「人を大切にします」「豊かな価値を創造します」「社会に貢献します」を経営理念に、「安全・安心・快適な社会—Human Smart Community (ヒューマン・スマート・コミュニティ)」の実現をめざし、社会インフラ・社会生活・家庭生活に直結する商品・サービスの提供を通じて、幅広い分野で社会に貢献する。



eisu group COO(最高執行責任者) 伊藤 奈緒(いとうなほ)  
三重県・現松阪市生まれ。三重県立津高校、関西学院大学卒業後、2000年、自身も1から高3まで6年間学んだeisuに入社。入社3年で人気・実力ともeisuの大学入試部門No.1講師に。その後「東進衛星予備校」の運営に注力し、その成功により日本全国の教育関係者の注目を集め、研修・指導にも腕を揮っている。経営陣の多くが男性により占められている塾・予備校業界にあって、若年の女性が業界大手企業の経営・運営の核を担っているという事実は、業界内外にインパクトを与えている。座右の銘は「情報才能!!」。

eisu group <http://www.eisu.co.jp/>  
**eisu** 幼・小・中・高一貫指導体制、ハイブリッド指導システムで「個への対応」を追求するeisuは、「人間尊重・SOAR-UP・顧客満足」の追求を基本理念とし、社会「going concern(継続発展企業)」を掲げて、2015年で創立50周年を迎えている。

## eisuの新学期は4/7(火)より全学年・全コース スタートします。

eisuの幼・小・中・高一貫指導体制&ハイブリッド指導システム。それが子供たちの可能性を広げる最善の方法です。

<p><b>通常コース</b> 特別コースと併せて受講もできるように時間割が組まれています。コースの詳細は裏面の希望校会までお問い合わせください。</p> <p><b>新小4 ▶ 新小6</b> 小学校の授業進度に合わせたカリキュラムと、きめ細やかな指導で学習習慣を身につける公立中学進学コース <b>小学本科</b> 学校の授業進度に合わせたカリキュラムが、現段階での学力アップだけでなく、中学に進学するための上での成績を維持できる基礎力と応用力を養います。</p> <p><b>新小3 ▶ 新小6</b> 私立中学校合格を目指す子供たちのための中学受験専用コース <b>小学特講</b> 私立中学校受験必須コース! 「合格」するためのノウハウが詰まった独自のカリキュラムで、eisuのエキスパート講師が徹底的に中学受験対策を行います。 ※小3は9月開講</p>	<p><b>新中1 ▶ 新中3</b> 中学校の学習習慣がキレムと習熟度別クラスでの指導で第一志望高校合格へ、高校受験専用コース <b>中学本科</b> 多様なティーチングメソッドをハイブリッドして、子供たち一人ひとりに十分な個別対応ができる体制を維持。徹底した「個」への対応が、第一志望高校合格へ導きます。</p> <p><b>新中1 ▶ 新中3</b> 難関大学現役合格を目指す中学生のための画期的な大学受験個別対応コース <b>東進中学NET</b> 中学全単元内容を早期に修了させるのが東進中学NETの最大の目標。中学2年間で3年分の内容を高速学習することを目標とします。早い人は中3になる前に高1生となって東進衛星予備校に進みます。</p> <p><b>新中1 ▶ 新中3</b> 難関大学に圧倒的な現役合格を実現する画期的な大学受験個別対応コース <b>東進衛星予備校</b> 優れた映像授業と演習システム、そして担任によるコーチングが、「個」の可能性を開花させ、志望校合格に高い効果をもたらします。高速学習による飛び級も可能で、自分のペースで学習を進められます。</p>	<p><b>新年長 ▶ 社会人</b> GET10,000単語&amp;30,000例文! 「使える」英語が身につく画期的な個別対応コース <b>David &amp; Thelma</b> Call Responseをコンセプトに、英語的な思考回路を「ネイティブ感覚」を育成します。「使える英語」はもちろん、英検・入試など、テストに強い英語力も鍛えます。</p> <p><b>新年長 ▶ 新小6</b> 「覚える人」になる前に「導く人」を育てる画期的な個別対応コース <b>パスズル道場</b> 学力の土台である「センス」を独自の指導方法により育成することで、テストに直結する学力を強化する画期的な講座です。中学入試対策にも高い効果を実証しています。</p>	<p><b>新小1 ▶ 新中3</b> 文部科学省学習指導要領に準拠し、教科書ページ対応機能を持つ画期的な個別対応コース <b>eドリル</b> 文部科学省学習指導要領が定める学力を不足なく順的に学習できます。学年の壁を越え「ら取り学習」取り学習が自由で、学校の成績アップにも高い効果を実証します。</p>
--	--	--	---

■今春より、好評のパスズル道場に続いて、デイビッド・セン英語検定もスタートします。  
■通常コースには、新小3~新中3(高卒)対象の個別指導コース[E-MEG(eisu個別指導会)]もあります。  
■特別コースには、新小1~新中3対象の[eトレ]、新小4~新中3対象の「速読コース」、新小1~新小6対象の「国語力養成講座」、新小4~新中3対象の「英検対策コース」もあります。